

てんかん臨床セミナー

*医療・介護・福祉・教育関係者（他案内文送付の関係機関）を

対象とします

2019年2月8日（金）18:00~20:00

天久台病院 本館2階ホール

第1話 「てんかん専門外来の紹介」

講師：磯村周一（九州大学病院精神科神経科）

第2話 「精神科・心療内科での

脳波検査の利用法」

講師：平野昭吾（九州大学病院精神科神経科）

***受講料 無料**

***簡単なアンケートへの協力をお願いします**

＜事前申し込み / 問い合わせ先＞

天久台病院 TEL868-2101 代表 FAX868-2192

看護部長：上里忠仁（ウエザトタダヒト）

又は事務部長：金城信幸（キンジョウノブユキ）

メールでも OK ⇒ uezato.tadahito.tenjinkai@gmail.com

主催： 天仁会 天久台病院

本セミナーは GSK 医学教育事業助成によるものである

第1話 「てんかん専門外来の紹介」

講師：磯村周一（九州大学病院精神科神経科）

てんかんをもつ患者は国内に約100万人いると推定されていますが、その診断・治療・支援には小児科、脳神経内科、脳神経外科、精神科、救急科、リハビリテーション科など診療科を超えた専門性があることから多くの医療機関に「てんかん専門外来」が設置されています。

しかし、それぞれの「てんかん専門外来」が実際にどのように運営されているのかを知る機会はありません。例えば、知的障害や難病を合併する難治てんかん患者が成人した時にどの診療科に引き継ぐのか、心因性発作を合併した患者にはどのような対処をするのか、夜間休日に発作重積した場合の対応はどうするのかなど、てんかんをもつ患者を集めた場合の現実的な問題についてそれぞれの医療機関の創意工夫があるはずです。

第1回は「九州大学病院精神科神経科」をご紹介します。

第2話 「精神科・心療内科での

脳波検査の利用法」

講師：平野昭吾（九州大学病院精神科神経科）

精神科・心療内科では類てんかん症候群と呼ばれる概念があります。

真性てんかん以外に迷走神経反射や不整脈などによる失神、解離性障害による失立や健忘、演技性人格障害による不適応反応、うつ病性昏迷、認知症の健忘、ナルコレプシーの睡眠発作、リチウム中毒などなど、てんかん発作に似たさまざまな「発作」で患者が来院します。真性てんかんとそれ以外の類てんかん症候群との鑑別に脳波検査が有用です。脳波検査で何がわかり、どのように臨床に利用できるのか、読み方・解釈方法も含めて講義します。